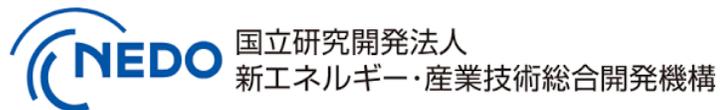


● NEDOウラノス事業に係る関係3機関の 役割分担と体制図



- ウラノス・エコシステム政策全体
- ・プロジェクト認定制度 (OLP、OCP)
- ・データ連携基盤規約 (モデル規約) 発信
- ・技術的な参照文書 (ODS-RAM) 等



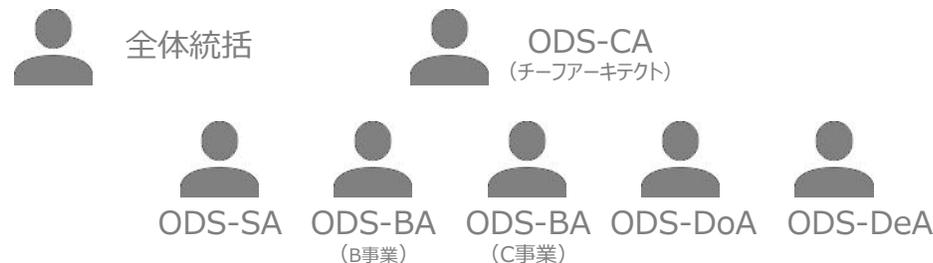
- ウラノス事業の実施
- ・ 技術的な参照文書 (ODS-RAM) 素案作成
- ・ プロトコル設計、基盤コンポーネント開発等
- ・ ODSガイドブック等の作成
- ・ モデル規約素案の作成や参考情報拡充
- ・ 国際イベント・国内WG開催 等

素案作成・SW開発
 ⇄
 アドバイザリー

- ODS全体のアーキテクチャ設計の統括
(ベンダーフリー、国際的な相互運用性の担保)
- ・ 技術的な参照文書 (ODS-RAM) 編纂
- ・ ガイドライン公開
- ・ OSSの公開

PMgr/SPMgr

技術推進委員会



人手不足や災害激甚化、脱炭素への対応といった社会課題を解決しながら、イノベーションを起こして経済成長を実現するため、企業や業界、国境を越えた横断的なデータ連携・システム連携を実現

●「ウラノス・エコシステムの実現のためのデータ連携システム構築・実証事業」におけるアーキテクト体制及びIPA DADCにおけるアーキテクト体制

名称	略称	NEDOウラノス事業のアーキテクトとしての役割	名称	略称	IPA DADCのアーキテクトとしての役割
プロジェクトマネージャー/サブプロジェクトマネージャー	PMgr/SPMgr	PMgr：実務責任者として担当事業全体の進行を計画・管理し、事業遂行にかかる業務を統括するとともに、技術的成果及び政策的効果を最大化させる。 SPMgr：PMgrによるプロジェクト運営を補佐する。	IPA全体統括	-	・IPAアーキテクトの円滑な活動の実現に責任と権限を持つ。
技術推進委員会	-	・技術面及び事業化（社会実装）面の開発進捗や今後の計画について指導・助言等を担う。	ODSチーフアーキテクト	ODS-CA	・ODSの取組に係る全てのIPAアーキテクト（ODS-BA、ODS-SA、ODS-DoA、ODS-DeA）を統括し、ODSを主導する中立的な立場のもと、特定個社に依存しないベンダーフリーで相互運用可能なODSのアーキテクチャ設計の統括に責任と権限を持つ。
ビジネスアーキテクト	BA	・業界最適の観点から協調領域・競争領域の切り分けをビジネスの側面から議論し、本事業で扱うテーマの社会実装に向けたビジネスプロセスに責任を負う。 ・個社最適を排すため業界のビジネス要件を集約し、業界のオペレーション変革を主導する。	ODSビジネスアーキテクト	ODS-BA	・特定個社に依存しない中立的な立場のもとで、業界最適の観点から事業要件を統括する責任と権限を持つ。 ①蓄電池トレーサビリティ分野のカーボンフットプリント情報の流通に係るビジネス関連 ②化学物質情報の流通に係るビジネス関連
システムアーキテクト	SA	・テクノロジー及びソフトウェア開発に関する専門知識を有し、システム等の技術的肥大化の低減及び社会実装に向けたシステムプロセスに対して責任を負う。 ・サプライヤーロジックの観点から自社技術の延長でプロトコル・システム設計等を行うのではなく、ビジネス要件を踏まえながら、ソースコードレベルで技術中立かつ最適なアーキテクチャを設計する。	ODSシステムアーキテクト	ODS-SA	・ODSに係るシステムの技術的肥大化の低減及び技術的中立性の担保に責任と権限を持つ。
ドキュメントアーキテクト	DoA	・ODS-RAM（V1.0）及びガイドブック、プロトコル仕様書、その他ドキュメントに係る横断的な編纂・アップデート、文書間の関係整理に責任を負う。 ・関連事業含むBA、SAと能動的にコミュニケーションを行い、ドキュメントの納入を実施する。	ODSドキュメントアーキテクト	ODS-DoA	・ODSに係るドキュメント全体の編纂を円滑に実施するための責任と権限を持つ。
デザイナーアーキテクト	DeA	・事業やプロダクトの戦略に基づいてデザインの方向性を統括し、本事業全体における広報・情報発信における各種コンテンツやレイアウト、OSS コンポーネント含むプロダクトやドキュメンテーション類のUI・UXデザイン等のデザインの整合性及び一貫性に責任を負う。 ・デザイン思想及び方向性については、NEDO、DADC及び経済産業省とすり合わせを継続的に実施する。	ODSデザインアーキテクト	ODS-DeA	・ODSに係るブランディング及びデザインの方向性整合を円滑に実施するための責任と権限を持つ。

※ウラノス・エコシステム（Ouranos Ecosystem）：人手不足や災害激甚化、脱炭素への対応といった社会課題を解決しながら、イノベーションを起こして経済成長を実現するため、企業や業界、国境をまたぐ横断的なデータ連携・システム連携の実現を目指す取組。

※ODS（Ouranos Ecosystem Dataspaces）：ウラノス・エコシステム・イニシアチブに基づくデータスペースが多数集まった集合体。

※ODS-RAM（Ouranos Ecosystem Dataspaces Reference Architecture Model）：ウラノス・エコシステムの取組における技術的な参照文書。産業界がデータスペースの社会実装を早急に進めるためのサービライフサイクルに焦点をおいたアーキテクチャモデル。

NEDO「ウラノス・エコシステムの実現のためのデータ連携システム構築・実証事業」

アーキテクト一覧

事業区分	区分	氏名	所属
A 事業	システムアーキテクト (A-1-1)	角井 健太郎	株式会社 NTT データグループ
A 事業	システムアーキテクト (A-1-2)	金子 崇之	株式会社 NTT データグループ
A 事業	システムアーキテクト (A-1-3)	澤田 悠希	株式会社日立製作所
A 事業	ドキュメントアーキテクト	坂内 健人	一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター
A 事業	デザインアーキテクト	森 拓郎	一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター
B 事業	ビジネスアーキテクト	藤原 輝嘉	一般社団法人自動車・蓄電池トレーサビリティ推進センター

※IPA DADC におけるアーキテクト一覧は[こちら](#)をご参照下さい。